平成２８年度 事業報告書

（平成２８年４月１日～平成２９年３月３１日）

本協会は、兵庫県における科学技術振興の中核的機構として、科学技術の振興を通じて県民生活の向上と地域社会の活性化に貢献することを目的として平成４年７月に設立されて以来、県下の研究者を対象とした各種の研究助成事業や、県民を対象とした科学技術の普及啓発事業等公益事業に取り組んできた。

科学技術の総合的な振興については、引き続き学術研究への助成を実施し、基礎的・基盤的な研究から産業の高度化に貢献する研究、若手による研究など学術的研究の促進を図った。また、実践的・創造的なものづくり人材の育成に寄与するため、「ロボットコンテスト」に参加する県内工業高等専門学校を支援した。

科学技術の普及・啓発については、一般県民を対象にした「ひょうご科学技術トピックスセミナー」等や、青少年の科学技術に対する興味・関心を高めるための「科学学習体験ツアー」、「科学の祭典」等を開催した。

地域産業の技術開発力強化・育成については、中小企業等に「技術アドバイザー」を派遣して技術相談・指導を実施し、技術高度化研究開発助成事業、兵庫県 COE プログラム推進事業等により、産学官連携を推進した。また、企業等の技術高度化・地域経済の活性化・強化のため地元商工会議所等と共催で各種セミナーや研修会を開催した。さらに、新たな取り組みとして IoT、人工知能など、ものづくりの変革に対する企業の意識改革や環境醸成を行うため、播磨地域の企業を対象に「次世代ものづくりセミナー」を開催した。

【理事会開催状況】

区　　分	開催年月日	議　　題
第23回	平成28年６月７日	・平成27年度事業報告の件 ・平成27年度収支決算の件 ・評議員会招集の件
第24回（決議の省略）	平成28年11月16日	・評議員会招集の件 ・平成28年度収支補正予算の件
第25回	平成29年３月27日	・平成28年度収支補正予算の件 ・平成29年度事業計画の件 ・平成29年度収支予算の件 ・評議員会招集の件

【評議員会開催状況】

区　　分	開催年月日	議　　題
第15回	平成28年６月29日	・平成27年度収支決算の件 ・評議員選任の件 ・役員選任の件
第16回(決議の省略)	平成28年11月16日	・理事選任の件
第17回(決議の省略)	平成29年３月31日	・監事選任の件

平成28年度事業の体系表

【主　要　事　業】

科学技術の総合的な振興	振興方策の総合的な企画調整	振興方策の企画立案	・総合企画委員会の運営
		振興を図るための調査・情報提供	・大学等研究者ｼｰｽﾞﾊﾞﾝｸ
			・協会ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの運営
	学術的研究の促進	学術的研究の支援	・学術研究助成事業
			・学術研究助成「受賞者発表会」の開催
		教育機関の実践的教育の支援	・高専のロボコン参加への支援

科学技術の普及・啓発	普及・啓発の充実強化	科学技術の普及・啓発の推進	・ひょうご科学技術ﾄﾋﾟｯｸｽｾﾐﾅｰの開催
			・機関誌「ひょうごｻｲｴﾝｽ」発行
			・ｻｲｴﾝｽｶﾌｪひょうごの開催支援
			・国際ﾌﾛﾝﾃｨｱ産業ﾒｯｾ2016共催
			・ひょうごSPring-8賞の共催
		青少年に対する科学技術の普及・啓発の推進	・科学学習体験ツアーの開催
			・ｻｲｴﾝｽﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ支援事業
			・青少年のための科学の祭典2016の開催

地域産業の技術開発力の強化・育成	産学官連携の促進	産学官連携体制の強化	・播磨ものづくりｸﾗｽﾀｰ協議会の運営
			・産学官連携コーディネートの推進
			・ 企業・大学院連携研究事業
	企業の技術高度化促進	技術高度化と研究開発の支援	・技術高度化研究開発支援助成事業
			・技術指導事業
			・兵庫県COEプログラム推進事業への参画
			・ものづくり関連機器の管理運営・指導
			・播磨ものづくり技術者派遣事業
		企業イノベーションの推進	・中小企業交流団体等への支援事業
			・商工会議所・商工会との連携事業
			・次世代ものづくりセミナーの開催（新規）

Ⅰ　科学技術の総合的な振興

１　振興方策の総合的な企画調整

（１）振興方策の企画立案

ア　総合企画委員会の運営

総合企画委員会のもとに学術研究助成審査委員会を設置し、学術研究助成者の決定について審議を行った。

区　　分	開催日	審議内容等
学術研究助成審査委員会	2 月 24 日	・平成 29 年度研究助成にかかる審査について

（２）振興を図るための調査・情報提供

ア　大学等研究者シーズバンク

県内の大学等研究機関の研究開発シーズを調査するとともに調査結果をデータベースに反映し、当協会ホームページを通じて情報提供を行った。

・ひょうご研究機関研究シーズ集 HP アクセス件数　　２，２８７件

イ　協会ホームページの運営等

・協会ホームページの運営

協会の活動状況や地域の産業・科学技術等の話題を広くＰＲするため、ホームページを設け、幅広く情報提供を行った。

・ひょうご科学技術協会 HP アクセス件数　７７６，８０９件

・「ひょうご研究機関メーリングリスト」の運営

科学技術に関する情報を幅広くタイムリーに提供するため、登録者全員にメールが配信される「ひょうご研究機関メーリングリスト」の運営を行った。

・参加機関　　７５団体（１４１人）

（大学・高等専門学校、公設・民間研究機関、研究支援機関、自治体等）

・「播磨産業技術情報」の発行

播磨地域の産業振興、科学技術等の情報を取りまとめた「播磨産業技術情報」を、ファックス、メールにより県内の企業、関係機関に提供した。

・送付件数　６７０件（月１回発行）

２　学術的研究の促進

（１）　学術的研究の支援

ア　学術研究助成事業

基礎的・基盤的な研究から産業の高度化に貢献する応用的・実用的な研究及び若手研究者による創造的・萌芽的研究を奨励するため、研究資金を助成するなどの支援を行った。

［平成 28 年度助成金の交付実績］

応募件数	１８３件
採択件数	３５件
助成総額	３５，０００千円

［平成 29 年度助成の公募選定］

応募件数	１８５件
採択件数	３５件
助成総額	３５，０００千円

また、平成２７年度に助成した学術研究助成について、成果報告書をとりまとめ、当協会ホームページ上に掲載するとともに、国立情報学研究所のデータベースに登録するなど広く一般に公開し、研究成果及び研究助成制度の普及を図った。

イ　学術研究助成「贈呈式」及び「研究発表会」の開催

平成２８年度学術研究助成者による「研究発表会」を贈呈式と併せて行い、学術研究助成事業を発信した。

［開催日］　　５月２４日（火）

［開催場所］　ラッセホール

（２）教育機関の実践的教育の支援

実践的・創造的なものづくり人材の育成に寄与するため、県内工業高等専門学校の実践的教育を支援した。

ア　高専のロボコン参加への支援

実践的・創造的なものづくり人材の育成に寄与するため、工業高等専門学校の実践的教育として認知度の高い「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト」におけるロボット製作費用及び本選出場への旅費を助成した。国立明石工業高等専門学校は東京で開催された本選へ出場し、昨年度に引き続きベスト４に進出する成績を残した。

・助成先　国立明石工業高等専門学校　神戸市立工業高等専門学校

・助成額　計 2 校　80 万円

Ⅱ　科学技術の普及・啓発

１　普及・啓発の充実強化

科学技術への興味・関心を高めるため、科学技術の情報提供やセミナーなどの普及啓発活動を行うとともに、協会の活動を広くＰＲした。

（１）科学技術の普及・啓発の推進

ア　ひょうご科学技術トピックスセミナーの開催

一般県民を対象に、科学技術の各分野における第一人者を講師に招き、最先端の科学技術をわかりやすく解説する「ひょうご科学技術トピックスセミナー」を開催した。

開催日	内　　容	会　　場	参加者数
11 月 22 日	「超スマート社会への挑戦」 大阪大学　総長　　西尾　章治郎　氏	ホテルクランウンパレス神戸	２００人

イ　機関誌「ひょうごサイエンス」の発行

協会の活動を広く一般にお知らせするとともに、科学技術に関する最新の話題を提供するため、機関誌「ひょうごサイエンス」を発行した。

・発行部数　　２，０００部（平成 29 年 3 月発行）

・配 布 先　　関係企業、関連機関、商工会議所、県内の公共施設・学校等

ウ　サイエンスカフェひょうごの開催支援

県民の科学技術に対する興味・関心を高めるため、科学者などの専門家と県民が身近にある喫茶店や大学施設などで、少人数で気軽に科学などについて語り合う「サイエンスカフェひょうご」を大学コンソーシアムひょうご神戸等と共催した。

回	開 催 日	開　催　場　所	参加者数
第１回	9 月 18 日	中播磨地区（姫路市）花の北市民広場	１７人
第２回	12 月 19 日	淡路地区（南あわじ市)SODA 島の学舎	２０人
第３回	2 月 4 日	阪神地区（伊丹市）伊丹市立生涯学習センター	３６人
第４回	3 月 25 日	但馬地区（豊岡市）豊岡市民プラザ	１７人
合　　計			９０人

エ　国際フロンティア産業メッセ 2016 の共催

兵庫経済をけん引する新産業の創造を推進し、国際的な技術・ビジネス交流を加速させるため「国際フロンティア産業メッセ 2016」を関係機関と共催した。

また、当協会の支援により技術開発や商品開発に取り組んでいる企業や県内大学・高専に参加を呼びかけ、「ひょうご科学技術協会グループ」として出展し、開発製品や研究内容などを広く発信した。

開催日：9 月 8 日（木)、9 日（金）

会　場：神戸国際展示場 1、2、3 号館　　参加者：29,875 名

①グループ出展企業（17 社）

㈱ｲﾄﾃﾞﾝｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	㈱三光システム	西日本衛材㈱
㈱井上鉄工所	三相電機㈱	㈱日伸電工
㈱イノベーションアイ	㈱セシルリサーチ	パイオニア精工㈱
㈱クマガワ	龍野コルク工業㈱	㈱ブレイン
ケニックス㈱	㈱帝国電機製作所	㈱ユメックス
佐藤精機㈱	㈱テクノツリー	

②グループ出展大学・高専（9 大学・2 高専）

関西学院大学	神戸大学	兵庫県立大学
甲南大学	神戸常磐大学	国立明石工業高等専門学校
神戸学院大学	姫路大学	神戸市立工業高等専門学校
神戸芸術工科大学	姫路獨協大学	

オ　ひょうご SPring-8 賞の共催

大型放射光施設 SPring-8 の認識と知名度を高めるため、SPring-8 を活用した研究成果の中から、産業への応用を含め、社会経済全般の発展に寄与することが期待される研究成果をあげた研究者・団体を顕彰する「ひょうご SPring-8 賞」を関係団体と共に実施した。

第14回ひょうごSPring-８賞表彰式・受賞記念講演
日時：9月７日（水）
場所：兵庫県民会館
受賞者：妹尾　政宣　（住友ベークライト(株)ｺｰﾎﾟﾚｰﾄR&Dｾﾝﾀｰ）
受賞テーマ：超高引き裂き強度シリコーンゴム開発への貢献

（２）青少年に対する科学技術の普及・啓発の推進

ア　科学学習体験ツアーの開催

青少年の科学学習の推進を図るため、地域の企業・研究機関などを訪問し、製造過程の見学、各種の科学実験や工作を行う「科学学習体験ツアー」を地域の小学生を対象として関係団体とともに開催した。

開 催 日	内　　容	参加者数
7月28日	『東はりま魅力KIDS体験ツアー（第１回目）』	２０組４０人
8月9日	『東はりま魅力KIDS体験ツアー（第２回目）』	２０組４０人
8月24日	『東はりま魅力KIDS体験ツアー（第３回目）』	１９組３８人
8月22日	『淡路ものづくり魅力発見ツアー』	１９組３８人
合　　計		７８組１５６人

イ　サイエンスボランティア支援事業

青少年の科学技術への関心と正しい理解を促進するため、自然科学系の教育者、研究者及びそのＯＢ等が、主として小学校高学年から中学校低学年を対象に、学校、企業、地域で行う実験教室などの科学学習分野におけるボランティア活動に対して、助成金を交付して支援した。

助成件数	４件
助成総額	３２４千円

ウ　青少年のための科学の祭典2016の共催

楽しい科学実験や科学工作などを通じ、子どもたちが自ら体験し、科学に対する興味や関心を高めるため、「青少年のための科学の祭典 2016」を県下７会場（丹波、豊岡、北はりま、東はりま、淡路、姫路、神戸）において関係団体と共に開催した。

開催時期	開　催　場　所		参加者数
７月２４日	丹波会場	ゆめタウン「ポップアップホール」	842人
７月３０，３１日	豊岡会場	兵庫県立但馬文教府	1,302人
８月７日	北はりま会場	多可町中央公民館	579人
８月２０，２１日	姫路会場	兵庫県立大学姫路工学キャンパス	1,464人
８月２０，２１日	淡路会場	三原ショッピングプラザパルティ	558人
８月２７，２８日	東はりま会場	兵庫県立東播磨生活創造センター	2,266人
９月３，４日	神戸会場	バンドー神戸青少年科学館	7,718人
合　　計（夏休み時期の土・日曜日に、延べ開催日数１２日　）			14,729人

Ⅲ　地域産業の技術開発力の強化・育成

播磨地域の産業活性化と技術高度化を図るため、技術参与や技術アドバイザー等を配置し、大学や公的研究機関等と地域産業の交流・連携を促進し、高度技術の開発又は利用による新事業の創出や新分野への進出を支援した。

１　産学官連携の促進

（１）産学官連携体制の強化

ア　播磨ものづくりクラスター協議会の運営

播磨地域の中小企業の新事業・新製品開発の創出を目的として、産業クラスターの形成を実現するために設置された「播磨ものづくりクラスター協議会」を運営し、各種の事業を実施した。

特に、産学官ネットワークの一層の広がりと広域化・緊密化を図り、産学・産産間など、新たな連携による共同研究・技術開発を活性化させる環境の整備を行い、「はりま産学交流会」及び「姫路ものづくり支援センター」（姫路市、姫路商工会議所）との共催で、「ものづくりシンポジウム 2017」を開催した。

開 催 日	内　　容	会　場	参加者数
2 月 13 日	講演①「青梅から世界に向けてのものづくり」 武州工業（株）　代表取締役　林　英夫　氏 講演②「ＩｏＴによる生産改革　コマツの取り組み」 （株）小松製作所　専務執行役員　高橋　良定　氏	姫路商工会議所	186 名

イ　産学官連携コーディネートの推進

産学官連携の専門人材を配置し、大学等の研究機関の研究開発シーズと企業の研究開発ニーズのマッチングのサポートや産学連携による共同研究のコーディネートを推進するなど、産学官の連携を促進した。

・兵庫県 COE プログラム推進事業採択に向けた産学官の連携促進
・協会技術高度化研究開発支援助成事業採択に向けた産学官の連携促進
・その他競争的資金獲得に向けた相談、技術開発のための産学官連携にかかる相談

ウ　企業・大学院連携研究事業

県内大学の大学院生が行う県内企業との産学共同研究を支援することにより、大学院生の資質向上や企業の活性化、技術の向上を図った。

・助成件数：５大学、１４件　　・助成金総額：2,690,266 円

大学名	企業名（所在地）	研究課題	大学院学生名	指導教官（専攻）
関西学院大学	マルカン酢(株) (神戸市)	酢酸菌培養技術を改良した機能性食酢の開発	東久保 遙、他 (生命科学専攻 １年次)	藤原伸介教授 (生命科学専攻)
甲南大学	多木化学(株) (加古川)	機能性表面創製のための高分子設計と特性解析	槌井 弘樹 (自然科学研究科 修士２年次)	渡邊順司教授 (機能分子工学専攻)
	ミナト医科学(株) (神戸市)	生体分子を用いた炭酸カルシウムのミネラリゼーションのナノ制御	尾崎 誠 (生命化学研究科 修士２年次)	臼井健二准教授 (生命化学専攻)
	(株)ビオスタ (神戸市)	免疫賦活物質クリーニングとマクロファージ活性化メカニズムの解析	角谷 祐 (生命化学研究科 修士２年次)	西方敬人教授 (生命化学専攻)

大学名	企業名（所在地）	研究課題	大学院学生名	指導教官（専攻）
神戸大学	エステック(株) (尼崎市)	曲面を用いた光のコントロール手法とその評価に関する研究	吉田 綾香、他 （建築工学専攻 博士前期１年）	鈴木広隆准教授 (建築工学専攻)
	(有)ＲＣＳ （尼崎市）	海水中ワイヤレス電力伝送システムの開発	森田 栄太郎、他 (海事科学専攻 博士前期２年)	三島智和准教授 (海事科学専攻)
	(株)カン研究所 (神戸市)	膵臓がんの転移・再発防止に向けた前臨床研究	西山 悟史 (保健学専攻 博士前期２年)	堀裕一教授 (保健学専攻)
兵庫医療大学	阪神調剤薬局 (尼崎市)	インスリン注入器用補助器具の形状およびサイズの個別化と使用性の関連性に関する検討	田中 里佳 （医療薬学専攻３年次）	天野学教授 (薬学部)
兵庫県立大学	大和薬品(株) (姫路市)	タンパク吸着を制御する新規ポリマーの開発	中畑 利奈 （応用科学専攻 博士前期１年）	遊佐真一准教授 (物質系工学専攻)
	アユミ工業(株) (姫路市)	ガスクラスターイオンビーム（GCIB）の表面活性化接合（SAB）への応用	佐々木 智也 （電子情報工学専攻 博士前期２年）	豊田紀章教授 (電子情報工学専攻)
	(株)きしろ (姫路市)	チタン合金のエンドミル加工における高圧クーラント供給による工具摩耗抑制効果	竹上 学 （機械工学専攻 博士前期１年）	奥田孝一教授 (機械工学専攻教授)
	サンアロイ(株) (姫路市)	超硬合金都市鉱山からのレアメタルの資源循環法の開発および回収資源による新規白金代替触媒材料の創成	坂本 史明 （化学工学専攻 博士前期１年）	森下政夫教授 (化学工学専攻)
	(株)ステップワン （姫路市）	水素社会に向けた高精度低電力駆動水素分子認識技術の研究開発	加藤 雅基 （電気物性工学専攻 博士前期１年）	本田信一教授 (電気物性工学専攻)
	ハマックス(株) (姫路市)	マイクロショットピーニングによる耐熱合金の表面硬質化技術の開発	佐伯 優斗 （機械工学専攻 博士前期２年）	原田泰典教授 (機械工学専攻)

２　企業の技術高度化促進

（１）技術高度化と研究開発の支援

ア　技術高度化研究開発支援助成事業

播磨地域に事業所を有する中小企業等が、新分野進出や新事業創出を図るために取り組む新技術・新製品の研究開発事業に対し、助成金を交付した。

・助成件数：５件　　・総額：500 万円

企業名	所在地	申 請 課 題
さくらい工業(株)	姫路市	極低温機器に用いる異材パイプ用摩擦撹拌接合加工技術の開発
佐藤精機(株)	姫路市	チタン-アルミニウム超難削材の精密切削加工技術の開発
サワダ精密(株)	姫路市	ニッケル基超耐熱鋼（インコネル 718）を用いたタービンブレードの量産化事業
(株)セシルリサーチ	姫路市	特定波長光照射による革新的な生物付着制御システムの開発
播州調味料(株)	姫路市	アミノ酸液色素成分が有する機能性を活用した商品開発

イ　技術指導事業

播磨地域の中小企業が抱える多種多様な技術課題について速やかに対処・解決するため、機械や化学などの専門家を技術参与やシニアアドバイザーとして配置し、企業訪問や電話などによる技術相談・指導を行った。また、企業ニーズと大学等のシーズとのマッチングを支援することにより、産学共同研究の推進を図った。

（技術参与：1名、シニアアドバイザー：1名）

・技術相談・指導件数･･･354 件

〔内訳〕 ①精密微細加工技術関連　64 件
②ロボット関連技術　9 件
③IT ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ機械金属技術関連　127 件
④健康･医療、食品等技術関連　100 件
⑤環境･エネルギー技術関連　18 件
⑥その他　36 件

ウ　兵庫県ＣＯＥプログラム推進事業への参画

企業の新技術や新製品開発を目的とし、産学官連携による共同研究プロジェクト等を構築するとともに､兵庫県ＣＯＥプログラム推進事業等へ代表機関として提案･応募し、採択されたプロジェクトの効果的な推進にかかるコーディネートを行った。

プロジェクト名	主な参画企業・機関
「睡眠時無呼吸症候群」診断・回避のための次世代非拘束型医療装置の開発	(株)クマガワ、パイオニア精工(株)、鳥取大学、（独法）国立病院機構姫路医療センター
次世代半導体表面構造を高品質形成制御する超小型専用装置の開発	ケニックス(株)、岸本工業(株)、九州大学
兵庫県靴下産業の活性化を目指した高齢者の転倒事故防止用機能性靴下の開発	(株)ユニバル、兵庫医療大学

エ　ものづくり関連機器の管理運営・指導

兵庫ものづくり支援センター播磨の管理運営の委託を受けて、走査型電子顕微鏡等ものづくり関連機器の管理運営及び技術指導を行うとともに､機器利用講習会を開催した。

・開放型ものづくり機器とその設置場所

設置場所	機器名
播磨産業技術支援センター	・3 次元 CAD/CAE システム ・流体解析システム ・走査型電子顕微鏡(X 線分析装置付)
兵庫県立ものづくり大学校	・CNC3 次元座標測定機 ・3 次元モデル切削加工機 ・3 次元形状計測装置 ・表面性状(粗さ)測定機

・開放型ものづくり機器　講習会(セミナー)

機器名	開催日	実施場所	受講者
CNC3 次元座標測定機	7 月 3 日	兵庫県立ものづくり大学校	5 名
走査型電子顕微鏡	8 月 9 日	姫路商工会議所	3 名

・開放型ものづくり機器の利用相談・指導

製品開発の構想・企画から製造・検査まで「先進的ものづくり」を担うコンピュータ支援の３次元 CAD/CAE システムや３次元座標測定機、走査型電子顕微鏡等の各種ものづくり機器について、随時、その利用相談・技術指導を行った。

・利用相談・指導件数･･･133 件

オ　播磨ものづくり技術者派遣事業

「ものづくり県・兵庫」を長年にわたり支えてきた企業ＯＢ技術者の技術を中小企業等で有効に活用するため、技術アドバイザーとして登録し、そのアドバイザーを播磨地域の中小企業に派遣し、企業が直面する技術的な課題の効果的な解決を図った。

「技術アドバイザー」は、機械、電気・電子、金属、食品、環境・エネルギー、品質管理等々のものづくり技術分野の専門家を２５名登録している。

また、事業実施にあたり、(公財)新産業創造研究機構、姫路ものづくり支援センター（姫路市、姫路商工会議所)、兵庫県立工業技術センター、ＮＰＯ法人産業人ＯＢネットとネットワークを構築するとともに、(公社)兵庫工業会とも密接な連携のもとで展開し、多種多様なニーズに対応した。

・派遣件数･･･１６社

（２）企業イノベーションの推進

ア　中小企業交流団体等への支援事業

「はりま産学交流会」が実施する「創造例会」を共催すると共に、中小企業交流団体等が播磨地域の産業技術高度化を図るため実施する講演会・研修会等、技術交流に係る各種事業を支援した。

・はりま産学交流会事業の支援（共催）

開催日	内　容	会場	参加者数
4 月 15 日	平成 28 年度定時総会・特別講演会	姫路商工会議所	102 名
5 月 20 日	創造例会（１）(兵庫県立大学、神戸大学、神戸学院大学)	姫路商工会議所	82 名
6 月 17 日	創造例会（２）(神戸大学、大阪府立大学、関西大学、鳥取環境大学)	姫路商工会議所	89 名
7 月 15 日	視察研修（神戸方面） （神戸大学大学院工学研究科先端膜工学センター、 ㈱神戸酒心館、渡辺金属工業㈱)		24 名
8 月 26 日	創造例会（３）(兵庫県立大学、鳥取大学、近畿大学)	姫路商工会議所	73 名
9 月 9～10 日	視察研修（香川・徳島方面） （㈱デンタス、朝日音響㈱、光食品㈱、㈱ハレルヤ)		21 名
10 月 21 日	創造例会（４）(大阪府立大学、関西大学、鳥取大学)	姫路商工会議所	76 名

開催日	内　容	会場	参加者数
11 月 18 日	創造例会（５）（近畿大学、神戸学院大学、明石高専）	姫路商工会議所	59 名
12 月 21 日	展示でチェンジ（神戸産学官交流会、播磨国際協議会との合同交流事業）	姫路商工会議所	87 名
2 月 13 日	ものづくりシンポジウム２０１７	姫路商工会議所	186 名

・21 世紀播磨科学技術フォーラム事業の支援（後援）

開催日	内　　容	会　場	参加者数
7 月 27 日	第５１回セミナー・交流会	姫路商工会議所	６５名
1 月 26 日	第５２回セミナー・交流会	姫路商工会議所	１００名

・その他

当協会の各種事業の紹介及びこれらの成果等の普及啓発を目的として、下記のセミナーやシンポジウムに参画した。

事　業　名	活 動 内 容 等
ものづくりのための放射光分析実習	＜開催日＞6 月 21 日（火）、22 日（水） ＜場所＞ニュースバル放射光施設 ＜主催＞：姫路市、兵庫県立大学 ＜連携＞：相生市、加古川市、高砂市、加西市等 ＜後援＞：姫路商工会議所、姫路経営者協会、ひょうご科学技術協会 ＜内容＞播磨地域の企業が材料開発や表面処理技術を産業利用するために、放射光を用いて種々の物質（金属材料、化学製品等）の性能を評価するために実習を開催
兵庫県立大学 「知の交流シンポジウム 2016」	＜開催日＞9 月 26 日（月） ＜場所＞姫路商工会議所 ＜主催＞同シンポジウム実行委員会(兵庫県立大学、兵庫県企業庁、兵庫工業会、ひょうご科学技術協会、姫路商工会議所等) ＜後援＞兵庫県、ひょうご産業活性化センター、NIRO、兵庫県商工会議所連合会等 ＜内容＞県立大学による一般講演(４件)、企業、姫路市から特別講演(２件)
第 8 回東播磨ビジネスマッチングフェア in 加古川 2016	＜開催日＞10 月 13 日（木） ＜場所＞ウェルネージかこがわ ＜主催＞加古川市、加古川商工会議所、兵庫県東播磨県民局 ＜共催＞ひょうご産業活性化センター、明石市産業振興財団 ＜後援＞近畿経済産業局、中機構、ひょうご科学技術協会等 ＜内容＞東播磨地域の企業を中心としたビジネスマッチング、特別講演会(2 件)、パネル展示等
企業・大学・学生マッチング in HIMEJI 2016	＜開催日＞11 月 10 日（木） ＜場所＞兵庫県立大学姫路工学キャンパス体育館 ＜主催＞姫路商工会議所、兵庫県立大学、姫路市、兵庫県中播磨県民ｾﾝﾀｰ ＜後援＞近畿経済産業局、姫路市、姫路経営者協会、ひょうご科学技術協会等 ＜内容＞姫路市内の企業の製品・技術展示、コマ大戦、大学の研究シーズ発表会、産学連携事例の成果発表会

事　業　名	活 動 内 容 等
「ものづくり補助金」 申請作成支援セミナー	＜開催日＞11 月 24 日（木） ＜場所＞姫路商工会議所 ＜主催＞姫路商工会議所 ＜共催＞兵庫工業会、ひょうご科学技術協会等 ＜内容＞「ものづくり補助金」へ申請する際、中小企業の多くが苦手とする申請書作成のコツを解説するセミナー
ものづくりのためのスーパーコンピュータ活用実習	＜開催日＞1 月 19 日（木）、20 日(金) ＜場所＞姫路商工会議所 ＜主催＞姫路市 ＜後援＞兵庫県立大学、姫路商工会議所、ひょうご科学技術協会、姫路経営者協会、他 ＜内容＞流体解析に関する講演、FOCUS スパコンでシミュレーション実習
高専＆工技センターものづくり支援セミナーin 明石	＜開催日＞1 月 25 日（水） ＜場所＞明石市立産業交流センター ＜主催＞明石工業高等専門学校、兵庫県立工業技術センター、明石市、明石市産業振興財団 ＜後援＞明石商工会議所、新産業創造研究機構、ひょうご科学技術協会、東播磨県民局　他 ＜内容＞基調講演、技術講演、技術シーズ＆企業支援機関の紹介ポスター展示
中小企業中堅技術者向けものづくり力向上セミナー	＜開催日＞1 月 30 日（月）～2 月 17 日(金)6 回開催 ＜場所＞兵庫県立大学産学連携・研究推進機構セミナールーム ＜主催＞姫路地域産学官連携事業実行委員会 ＜後援＞ひょうご科学技術協会、姫路経営者協会、はりま産学交流会 ＜内容＞生産システムと生産管理、機械設計、機械加工の３テーマに関するセミナー
先端技術セミナー2017	＜開催日＞3 月 3 日（金） ＜場所＞イーグレひめじ ＜主催＞兵庫県立大学高度産業科学研究所 ＜共催＞兵庫県立大学産学連携・研究推進機構、文部科学省 ＜協賛＞ひょうご科学技術協会、兵庫工業会 ＜後援＞姫路市、21 世紀播磨科学技術フォーラム ＜内容＞基調講演、招待講演、高度研・企業による研究発表会、ポスター発表
ものづくり支援制度紹介セミナー	＜開催日＞3 月 8 日（水） ＜場所＞姫路商工会議所 ＜主催＞姫路ものづくり支援センター ＜後援＞近畿経済産業局、ひょうご科学技術協会、兵庫県中播磨県民センター ＜内容＞経済産業省、兵庫県、ひょうご科学技術協会、姫路市の補助制度紹介
次世代水素触媒共同研究センター 平成 28 年度シンポジウム	＜開催日＞3 月 13 日（月） ＜場所＞じばさんびる ＜主催＞兵庫県立大学 ＜共催＞ひょうご科学技術協会 ＜後援＞兵庫県、姫路市、新産業創造研究機構、他 ＜内容＞基調講演、研究センターからの研究発表
IT を活用した生産性向上セミナー 「クラウドソーシングでビジネスはこう変わる」	＜開催日＞3 月 14 日（火） ＜場所＞姫路商工会議所 ＜主催＞姫路商工会議所 ＜後援＞ひょうご科学技術協会 ＜内容＞クラウドワークスが取り組む「働き方革命」と企業の活用事例の紹介セミナー

イ　商工会議所・商工会との連携事業

地域経済の活性化、企業の技術高度化の促進を目的として、播磨地域の商工会議所と共同し､生産現場の改善などをテーマとしたセミナー､研修会などの各種事業を行った。

商工会議所との連携事業

実施団体	開催日	事業内容	参加者数
姫路商工会議所	7月28日 9月15日 11月17日	「次世代ものづくりセミナー」（全３回） 第１回「Iot が社会にもたらすインパクト」 第２回「IoT と自動運転が変えるこれからの自動車産業」 第３回「IoT を活用した生産性向上」	延べ186名
龍野商工会議所	9月14日 10月 6日 10月27日 11月 2日他 2月16日他	「モノづくり企業現場力強化事業」（全５回） 第１回「ものづくりの基本」 第２回「やる気を高めるチーム職場づくり」 第３回「ものづくりの問題と解決」 第４回「現場診断、診断レポート作成」 第５回「診断フォロー」	延べ48社 84名
赤穂商工会議所	2月22日	「ものづくり製造現場改善事例研修会」	23名

商工会との連携事業

実施団体	開催日	事業内容	参加者数
上郡町商工会	9月8日	「ものづくりへの技術改善・向上、人材育成研修」	18名
宍粟市商工会	9月14日	「食品製造事業部視察研修」	15名
神河町商工会	10月18日	「ものづくり人材育成セミナー」	29名
姫路市商工会	11月22日	「ものづくり先進技術視察研修」	19名
たつの市商工会	12月21日	「製造業における技術経営力向上セミナー」	40名

ウ　次世代ものづくりセミナーの開催

ＩＴやセンサー技術の急速な進歩に伴い、ＩｏＴ、人工知能やビッグデータの解析など、ものづくりの世界にも大きな変革が生じている。ドイツのインダストリー4.0 や米国のインダストリアル・インターネットが目指している「ものづくりのビジネスモデルの変革」を見据え、企業の意識改革や環境醸成を行っていくため、播磨地域の企業を対象にセミナーを開催した。

回	内容	場所	参加者数
第１回	IoT が社会にもたらすインパクト	姫路商工会議所	61名
第２回	IoT と自動運転が変えるこれからの自動車産業	姫路商工会議所	62名
第３回	IoT を活用した生産性向上	姫路商工会議所	63名
合　　計			186名

貸 借 対 照 表

平成29年3月31日現在

（単位：円）

科　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	55,198,000	78,844,778	▲ 23,646,778
未収金	36,080,958	12,245,108	23,835,850
前払金	71,190	84,524	▲ 13,334
流動資産合計	91,350,148	91,174,410	175,738
２．固定資産			
（１）基本財産			
国債公債	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
（２）特定資産			
科学技術振興基金	768,339,060	768,339,060	0
播磨産業活性化基金	950,000,000	1,100,000,000	▲ 150,000,000
什器備品	2	3	▲ 1
減価償却引当資産	6,634,182	6,634,182	0
特定資産合計	1,724,973,244	1,874,973,245	▲ 150,000,001
（３）その他固定資産			
投資有価証券	5,614,760	5,614,760	0
什器備品	133,353	213,363	▲ 80,010
ソフトウェア	0	0	0
電話加入権	601,720	601,720	0
その他固定資産合計	6,349,833	6,429,843	▲ 80,010
固定資産合計	1,931,323,077	2,081,403,088	▲ 150,080,011
資産合計	2,022,673,225	2,172,577,498	▲ 149,904,273
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	3,606,365	5,383,914	▲ 1,777,549
預り金	133,858	181,173	▲ 47,315
賞与引当金	1,545,399	1,486,215	59,184
流動負債合計	5,285,622	7,051,302	▲ 1,765,680
負債合計	5,285,622	7,051,302	▲ 1,765,680
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
兵庫県COEプログラム推進事業費補助金	2	3	▲ 1
寄附金	1,828,339,060	1,978,339,060	▲ 150,000,000
指定正味財産合計	1,828,339,062	1,978,339,063	▲ 150,000,001
（うち基本財産への充当額）	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(1,628,339,062)	(1,778,339,063)	(▲ 150,000,001)
２．一般正味財産	189,048,541	187,187,133	1,861,408
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(96,634,182)	(96,634,182)	(0)
正味財産合計	2,017,387,603	2,165,526,196	▲ 148,138,593
負債及び正味財産合計	2,022,673,225	2,172,577,498	▲ 149,904,273

正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

（単位：円）

科　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
（１）経常収益			
基本財産運用益	3,212,490	3,950,597	▲ 738,107
特定資産運用益	33,311,525	34,499,282	▲ 1,187,757
事業収益	4,892,922	4,840,151	52,771
受取補助金等	80,177,261	61,381,469	18,795,792
雑収益	110,833	170,159	▲ 59,326
経常収益計	121,705,031	104,841,658	16,863,373
（２）経常費用			
事業費	111,147,449	96,843,784	14,303,665
役員報酬	2,560,000	2,560,000	0
給料手当	16,466,629	16,415,859	50,770
賞与引当金繰入額	1,138,000	1,087,565	50,435
福利厚生費	6,248,515	6,004,290	244,225
会議費	355,817	289,664	66,153
旅費交通費	2,572,139	2,245,343	326,796
通信運搬費	766,133	730,341	35,792
什器備品費	298,954	914,776	▲ 615,822
消耗品費	958,840	904,567	54,273
修繕費	0	263,520	▲ 263,520
減価償却費	80,010	80,010	0
印刷製本費	1,369,278	1,413,936	▲ 44,658
広報宣伝費	472,500	904,500	▲ 432,000
燃料費	37,103	18,614	18,489
光熱水料費	257,432	270,648	▲ 13,216
賃借料	4,912,722	5,850,525	▲ 937,803
保険料	32,230	32,230	0
諸謝金	5,794,236	5,302,700	491,536
租税公課	1,000	0	1,000
支払負担金	5,207,111	4,411,667	795,444
支払助成金	56,086,804	40,166,720	15,920,084
委託費	5,366,353	6,803,791	▲ 1,437,438
雑費	165,643	172,518	▲ 6,875
管理費	9,928,614	10,436,677	▲ 508,063
役員報酬	1,280,000	1,280,000	0
給料手当	2,141,794	1,568,998	572,796
福利厚生費	346,337	258,043	88,294
会議費	23,880	26,597	▲ 2,717
渉外費	6,104	2,000	4,104
旅費交通費	146,180	338,981	▲ 192,801
通信運搬費	198,613	191,080	7,533
什器備品費	0	376,450	▲ 376,450
消耗品費	176,247	236,336	▲ 60,089
減価償却費	0	252,448	▲ 252,448
印刷製本費	131,976	183,168	▲ 51,192
光熱水料費	111,631	119,019	▲ 7,388
賃借料	960,271	949,513	10,758
保険料	43,700	43,290	410
諸謝金	0	225,500	▲ 225,500
租税公課	77,250	163,550	▲ 86,300
支払負担金	425,430	325,430	100,000
委託費	3,454,359	3,488,794	▲ 34,435
雑費	404,842	407,480	▲ 2,638
経常費用計	121,076,063	107,280,461	13,795,602

科　目	当年度	前年度	増減
評価損益等調整前当期経常増減額	628,968	▲ 2,438,803	3,067,771
基本財産評価損益等	40,000	0	40,000
特定資産評価損益等	78,000	20,000	58,000
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	118,000	20,000	98,000
当期経常増減額	746,968	▲ 2,418,803	3,165,771
２．経常外増減の部			
（１）経常外収益	2,212,896	0	2,212,896
その他収益	2,212,896	0	2,212,896
前期損益修正益	2,212,896	0	2,212,896
経常外収益計	2,212,896	0	2,212,896
（２）経常外費用			
什器備品除却損失	1	0	1
什器備品除却損失	1	0	1
その他損失	1,098,455	0	1,098,455
前期損益修正損	1,098,455	0	1,098,455
経常外費用計	1,098,456	0	1,098,456
当期経常外増減額	1,114,440	0	1,114,440
当期一般正味財産増減額	1,861,408	▲ 2,418,803	4,280,211
一般正味財産期首残高	187,187,133	189,605,936	▲ 2,418,803
一般正味財産期末残高	189,048,541	187,187,133	1,861,408
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
返還金	▲ 150,000,000	0	▲ 150,000,000
返還金	▲ 150,000,000	0	▲ 150,000,000
一般正味財産への振替額	▲ 1	0	▲ 1
当期指定正味財産増減額	▲ 150,000,001	0	▲ 150,000,001
指定正味財産期首残高	1,978,339,063	1,978,339,063	0
指定正味財産期末残高	1,828,339,062	1,978,339,063	▲ 150,000,001
Ⅲ　正味財産期末残高	2,017,387,603	2,165,526,196	▲ 148,138,593

正味財産増減計算書内訳表

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計							法人会計	内部取引消去	合計
	調査研究事業	学術研究支援事業	普及啓発事業	技術振興事業	地域産業活性化事業	共通	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部										
１．経常増減の部										
（１）経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	1,606,246	1,606,246	1,606,244		3,212,490
基本財産受取利息						1,606,246	1,606,246	1,606,244		3,212,490
特定資産運用益	0	0	0	20,521,289	0	6,395,041	26,916,330	6,395,195		33,311,525
科学技術振興基金受取利息						6,395,041	6,395,041	6,395,195		12,790,236
播磨産業活性化基金受取利息				20,521,289			20,521,289			20,521,289
事業収益	0	0	476,922	4,416,000	0	0	4,892,922	0		4,892,922
事業受託収益			476,922				476,922			476,922
ものづくり支援センター業務受託収益				4,048,000			4,048,000			4,048,000
ものづくり支援センター利用料金収益				368,000			368,000			368,000
受取補助金等	0	0	0	13,000,001	0	65,116,158	78,116,159	2,061,102		80,177,261
受取兵庫県交付金						65,116,158	65,116,158	2,061,102		67,177,260
受取兵庫県COEプログラム推進事業費補助金				13,000,000			13,000,000			13,000,000
受取補助金等振替額				1			1			1
雑収益	0	0	0	99,011	0	3	99,014	11,819		110,833
受取利息				0		3	3	10,619		10,622
有価証券運用益				99,011			99,011	1,200		100,211
雑収益							0			0
経常収益計	0	0	476,922	38,036,301	0	73,117,448	111,630,671	10,074,360		121,705,031
（２）経常費用										
事業費	2,404,409	46,656,465	16,599,255	45,487,320	0	0	111,147,449	0		111,147,449
役員報酬	320,000	640,000	640,000	960,000			2,560,000			2,560,000
給料手当	670,080	2,482,650	2,699,895	10,614,004			16,466,629			16,466,629
賞与引当金繰入額		1,138,000					1,138,000			1,138,000
福利厚生費	586,165	1,854,759	1,344,040	2,463,551			6,248,515			6,248,515
会議費		321,700	6,096	28,021			355,817			355,817
旅費交通費	15,780	272,700	633,919	1,649,740			2,572,139			2,572,139
通信運搬費	10,937	144,514	217,655	393,027			766,133			766,133
什器備品費				298,954			298,954			298,954
消耗品費	3,772	187,179	237,539	530,350			958,840			958,840
修繕費							0			0
減価償却費				80,010			80,010			80,010
印刷製本費		61,938	1,258,092	49,248			1,369,278			1,369,278
広報宣伝費			472,500				472,500			472,500
燃料費				37,103			37,103			37,103
光熱水料費	11,163	59,536	81,863	104,870			257,432			257,432
賃借料	41,197	588,565	1,095,572	3,187,388			4,912,722			4,912,722
保険料				32,230			32,230			32,230
諸謝金		2,730,436	378,800	2,685,000			5,794,236			5,794,236
租税公課				1,000			1,000			1,000
支払負担金		5,000	3,522,045	1,680,066			5,207,111			5,207,111
支払助成金		35,800,000	3,013,884	17,272,920			56,086,804			56,086,804
委託費	745,315	369,488	988,339	3,263,211			5,366,353			5,366,353
雑費			9,016	156,627			165,643			165,643

科目	公益目的事業会計							法人会計	内部取引消去	合計
	調査研究事業	学術研究 支援事業	普及啓発事業	技術振興事業	地域産業 活性化事業	共通	小計			
管理費	0	0	0	0	0	0	0	9,928,614		9,928,614
役員報酬							0	1,280,000		1,280,000
給料手当							0	2,141,794		2,141,794
福利厚生費							0	346,337		346,337
会議費							0	23,880		23,880
渉外費							0	6,104		6,104
旅費交通費							0	146,180		146,180
通信運搬費							0	198,613		198,613
什器備品費										0
消耗品費							0	176,247		176,247
減価償却費							0			0
印刷製本費							0	131,976		131,976
広報宣伝費							0			0
光熱水料費							0	111,631		111,631
賃借料							0	960,271		960,271
保険料							0	43,700		43,700
諸謝金							0			0
租税公課							0	77,250		77,250
支払負担金							0	425,430		425,430
委託費							0	3,454,359		3,454,359
雑費							0	404,842		404,842
経常費用計	2,404,409	46,656,465	16,599,255	45,487,320	0	0	111,147,449	9,928,614		121,076,063
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 2,404,409	▲ 46,656,465	▲ 16,122,333	▲ 7,451,019	0	73,117,448	483,222	145,746		628,968
基本財産評価損益等						20,000	20,000	20,000		40,000
特定資産評価損益等				3,000		37,500	40,500	37,500		78,000
投資有価証券評価損益等							0	0		0
評価損益等計	0	0	0	3,000	0	57,500	60,500	57,500		118,000
当期経常増減額	▲ 2,404,409	▲ 46,656,465	▲ 16,122,333	▲ 7,448,019	0	73,174,948	543,722	203,246		746,968
２．経常外増減の部										
（１）経常外収益							2,212,896			2,212,896
その他収益				2,212,896			2,212,896			2,212,896
前期損益修正益				2,212,896			2,212,896			2,212,896
経常外収益計	0	0	0	2,212,896	0	0	2,212,896	0		2,212,896
（２）経常外費用							1,098,456			1,098,456
什器備品除却損失				1			1			1
什器備品除却損失				1			1			1
その他損失				1,098,455			1,098,455			1,098,455
前期損益修正損				1,098,455			1,098,455			1,098,455
経常外費用計	0	0	0	1,098,456	0	0	1,098,456	0	0	1,098,456
当期経常外増減額	0	0	0	1,114,440	0	0	1,114,440	0		1,114,440
当期一般正味財産増減額	▲ 2,404,409	▲ 46,656,465	▲ 16,122,333	▲ 6,333,579	0	73,174,948	1,658,162	203,246	0	1,861,408
一般正味財産期首残高	▲ 10,271,690	▲ 266,954,768	▲ 65,082,732	68,961,746		375,802,898	102,455,454	84,731,679		187,187,133
一般正味財産期末残高	▲ 12,676,099	▲ 313,611,233	▲ 81,205,065	62,628,167	0	448,977,846	104,113,616	84,934,925		189,048,541
Ⅱ　指定正味財産増減の部										
返還金				▲ 150,000,000			▲ 150,000,000			▲ 150,000,000
一般正味財産への振替額				▲ 1		0	▲ 1	0	0	▲ 1
当期指定正味財産増減額	0	0	0	▲ 150,000,001	0	0	▲ 150,000,001	0	0	▲ 150,000,001
指定正味財産期首残高	0	0	0	1,100,000,003		439,169,530	1,539,169,533	439,169,530	0	1,978,339,063
指定正味財産期末残高	0	0	0	950,000,002	0	439,169,530	1,389,169,532	439,169,530	0	1,828,339,062
Ⅲ　正味財産期末残高	▲ 12,676,099	▲ 313,611,233	▲ 81,205,065	1,012,628,169	0	888,147,376	1,493,283,148	524,104,455	0	2,017,387,603

財務諸表に対する注記

1　重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準は原価法であり、　評価方法は総平均法である。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却方法は、定額法で行っている。

(3) 引当金の計上基準

職員の賞与引当金の支給に備えるため、支給見込み額のうち当事業年度負担額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2　基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
国債公債	200,000,000			200,000,000
小　計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
科学技術振興基金	768,339,060			768,339,060
播磨産業活性化基金	1,100,000,000		150,000,000	950,000,000
什器備品	3		1	2
減価償却引当資産	6,634,182			6,634,182
小　計	1,874,973,245	0	150,000,001	1,724,973,244
合　計	2,074,973,245	0	150,000,001	1,924,973,244

3　基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
国債公債	200,000,000	(200,000,000)	(0)	－
小　計	200,000,000	(200,000,000)	(0)	－
特定資産				
科学技術振興基金	768,339,060	(678,339,060)	(90,000,000)	－
播磨産業活性化基金	950,000,000	(950,000,000)	(0)	－
什器備品	2	(2)	(0)	－
減価償却引当資産	6,634,182	(0)	(6,634,182)	(0)
小　計	1,724,973,244	(1,628,339,062)	(96,634,182)	(0)
合　計	1,924,973,244	(1,828,339,062)	(96,634,182)	(0)

4　固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
什器備品	2,454,900	2,454,898	2
その他の固定資産			
什器備品	1,240,707	1,107,354	133,353
ソフトウェア	3,896,865	3,896,865	0
合　計	7,592,472	7,459,117	133,355

5　満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時　　価	評価損益
第303回大阪府公募公債	49,975,000	50,240,000	265,000
第304回大阪府公募公債	99,750,000	100,612,100	862,100
26回兵庫県住宅供給公社債	100,000,000	—	—
27回兵庫県住宅供給公社債	100,000,000	—	—
第8回三菱UFJ信託銀行社債（劣後特約付）	200,000,000	225,314,000	25,314,000
第3回野村ホールディングス期限前償還条項付社債（劣後特約付）	100,000,000	107,342,200	7,342,200
愛知県平成22年度第8回公募公債	100,000,000	119,094,100	19,094,100
第6回大阪府公募公債	99,980,000	119,847,600	19,867,600
愛知県・名古屋市折半保証第104回名古屋高速道路債	100,000,000	119,190,000	19,190,000
静岡県第11回20年公募公債	80,000,000	94,803,840	14,803,840
埼玉県第10回20年公募公債	100,000,000	120,020,000	20,020,000
堺市平成22年度第1回公募公債	99,980,000	120,390,000	20,410,000
京都府平成22年度第3回公募公債	99,980,000	120,684,600	20,704,600
愛知県平成22年度第14回公募公債	100,000,000	122,788,000	22,788,000
京都市第9回公募公債	100,000,000	122,730,000	22,730,000
第136回利付国債	197,562,000	236,883,400	39,321,400
オランダ水道金融公庫ユーロ円債	100,000,000	131,626,000	31,626,000
第144回利付国債	100,771,000	117,030,000	16,259,000
合　計	1,927,998,000	2,028,595,840	300,597,840

6　補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
兵庫県COEプログラム推進事業費補助金	兵庫県	3	13,000,000	13,000,001	2	指定正味財産
交付金						
科学技術振興事業交付金	兵庫県	－	67,177,260	67,177,260	－	－
合　計		3	80,177,260	80,177,261	2	－

7　指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

（単位：円）

内　訳	金　額
経常収益への振替額	1
合　計	1

附属明細書

1　基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記２「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略する。

2　引当金の明細

（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,486,215	1,545,399	1,486,215	0	1,545,399

財　産　目　録

平成29年3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	現金預金	普通預金 　三井住友銀行姫路支店、姫路信用金庫本店	運転資金として	6,337,494
		当座預金 　姫路信用金庫本店	運転資金として	3,300,506
		定期預金 　三井住友銀行姫路支店、姫路信用金庫本店		45,560,000
	未収金	野村證券（株）ほか計28件		36,080,958
	前払金	兵庫県職員互助サービス（有）		71,190
流動資産合計				91,350,148
（固定資産） 基本財産	国債公債	国債、埼玉県債、兵庫県住宅供給公社債	基本財産は、共用財産（うち公益目的保有財産50%、管理目的のために使用する財産50%）であり、満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業共通（50%）及び管理（50%）目的のために使用している。	200,000,000
	基本財産合計			200,000,000
特定資産	科学技術振興基金		科学技術振興基金は、共用財産（うち公益目的保有財産50%、管理目的のために使用する財産50%）であり、満期保有目的で保有し、運用益を公益目的事業共通（50%）及び管理（50%）目的のために使用している。	
	国債公債	国債、大阪府債2件、堺市債、愛知県債、京都市債 名古屋高速道路債、兵庫県住宅供給公社債		618,295,240
	その他投資有価証券	野村ホールディングス社債		50,000,000
	外国債券	オランダ水道金融公庫ユーロ円債		100,000,000
	定期預金	三井住友銀行姫路支店		43,820
	科学技術振興基金合計			768,339,060
	播磨産業活性化基金		播磨産業活性化基金は、公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を技術振興事業のために使用している。	
	国債公債	国債2件、大阪府債、京都市債、京都府債 愛知県債、静岡県債、兵庫県住宅供給公社債		700,000,000
	その他投資有価証券	三菱UFJ信託銀行社債、野村ホールディングス社債		250,000,000
	播磨産業活性化基金合計			950,000,000
	什器備品	マルチ水質計ほか計2件	公益目的保有財産であり、技術振興事業に使用している。	2
	減価償却引当資産	兵庫県住宅供給公社債2件	資産取得資金のための財産	4,118,000
		普通預金（三井住友銀行姫路支店）		2,516,182
	特定資産合計			1,724,973,244
その他 固定資産	投資有価証券 　国債公債	国債2件、京都市債	満期保有目的で保有し、運用益を技術振興事業のために使用している。	5,584,760
	その他投資有価証券	姫路信用金庫出資証券	当座貸越契約締結に伴う出資	30,000
	什器備品	シュレッダーほか計4件	管理目的及び技術振興事業のために使用する財産	133,353
	電話加入権		管理目的のために使用する財産	601,720
	その他固定資産合計			6,349,833
固定資産合計				1,931,323,077
資産合計				2,022,673,225
（流動負債）				
	未払金	兵庫県ほか計54件		3,606,365
	預り金	源泉所得税、住民税、社会保険料		133,858
	賞与引当金			1,545,399
流動負債合計				5,285,622
負債合計				5,285,622
正味財産				2,017,387,603